

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立静岡南部特別支援学校

目 次

事務事業の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
事務執行の根拠法令調	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
学校施設の概要	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
在籍生徒調	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
卒業生の動向調（特別支援学校用）	・ ・ ・ ・ ・ 1 5
生徒の状況	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
預金調	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
郵券等受払調	・ ・ ・ ・ ・ 1 8
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・ 1 9
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	・ ・ ・ ・ ・ 2 0
委託料に関する調	・ ・ ・ ・ ・ 2 1
負担金支出調	・ ・ ・ ・ ・ 2 3
公有財産調	・ ・ ・ ・ ・ 2 4
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	・ ・ ・ ・ ・ 2 5
行政財産貸付・使用許可調	・ ・ ・ ・ ・ 2 6
主要備品調	・ ・ ・ ・ ・ 2 7
職員調	・ ・ ・ ・ ・ 2 8
職員の年齢調	・ ・ ・ ・ ・ 3 0
健康管理	・ ・ ・ ・ ・ 3 1

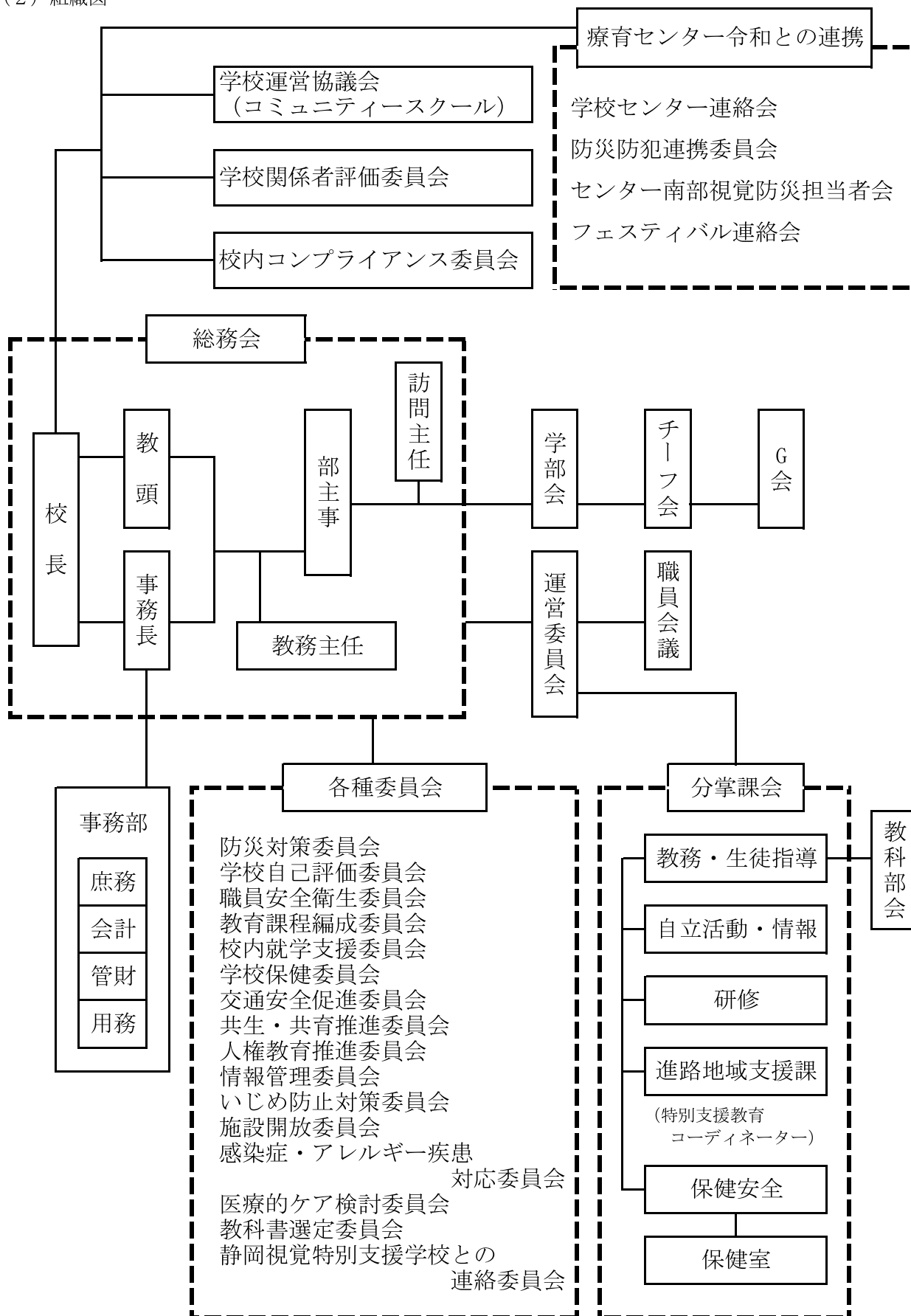
事務事業の概要

1 概 況

(1) 学校の沿革

昭和28年 4月 1日	静岡療護園（現静岡済生会療育センター令和）開設とともに、静岡市立西豊田小学校・同豊田中学校の特殊学級が施設内に置かれ教育を開始
昭和33年 4月 1日	静岡県立養護学校設立 静岡療護園の一部を仮校舎として発足
昭和34年 5月 3日	静岡市小鹿1丁目1-24に校舎第一期工事完成（北校舎）
昭和35年 6月30日	校舎第二期工事完成（南校舎）
昭和39年 4月 1日	校名を静岡県立静岡養護学校に変更する。
昭和49年 4月 1日	校名を静岡県立中央養護学校に変更する。
昭和50年 4月 1日	静岡市漆山777に新校舎が完成する。 新校舎を静岡県立中央養護学校麻機校舎と呼称し通学する児童生徒を対象とする。 旧校舎を静岡県立中央養護学校小鹿校舎と呼称し静岡療護園による医療・訓練を必要とする児童生徒を対象とする。
昭和55年 4月 1日	小鹿校舎が独立し静岡県立静岡南部養護学校が設立される。 （小学部及び中学部）
昭和55年 4月 7日	開校式を挙げる。
昭和56年 4月 1日	訪問教育担当校となる。 （志太地区・島田市民病院・いこいの家）
昭和58年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。 （志太榛原地区・島田市民病院・つくしの家・やまばと学園）
昭和59年10月18日	静岡市曲金5丁目3-30福祉エリア内に新校舎建築工事着工
昭和60年12月14日	新校舎建築工事竣工
昭和60年12月24日	小鹿校舎から新校舎に移転する。
昭和61年 1月 8日	新校舎使いはじめの式を挙げる。
昭和61年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市・島田市民病院）
昭和61年 6月14日	新校舎落成・創立七周年記念式典を挙げる。
平成 2年 6月16日	創立十周年記念式典を挙げる。
平成14年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育開始
平成16年 4月 1日	訪問教育担当地区が変更される。（静岡市）
平成20年 4月 1日	校名を静岡県立静岡南部特別支援学校に変更する。
平成21年 4月 1日	静岡県立こころの医療センターの訪問教育が、中央特別支援学校に移管
平成23年 3月23日	創立30周年記念コンサートを開催する。
令和 2年11月 7日	創立40周年記念式典を挙げる。

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1)教育目標 「自ら学び 生活を高める 心豊かな子」

自ら学ぶ子：学ぶ喜びを感じながら主体的に学び、考え、行動する子
 生活を高める子：自分や仲間を大切にし、互いを認め合い、共に生きる子
 心豊かな子：健康で豊かな感性をもち、表現する子

(2)目標具現化の柱

【守り認め合う（安全・安心）】

命、心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校
 ア 安全と安心な学習環境、生活環境づくりの充実
 イ 児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にする学校生活の充実

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校
 ウ 生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践
 エ 教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む、授業改善や業務改善の充実

【つながり合う（連携）】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校
 オ 地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実
 カ 共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1)令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価基準 A：十分目標を達成することができた
 B：おおむね目標を達成することができた
 C：あまり目標を達成することができなかった
 D：ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生活年齢、学びの積み重ねを大切にした系統性ある教育課程の実践	生活年齢や学びの積み重ねを意識し、系統的な学習を実践し、見直している	A：9 B：13 C：0 D：0	B 3.4	・年間指導計画を元に学習を行い、各教科における経験の幅を少しずつ広げることができた。また、学部間の単元のつながりや、学習内容の積み上げの確認を行った。
		学習指導要領に基づき、目標設定や学習評価をしている	A：11 B：11 C：0 D：0	A 3.5	・単元ごとに学習指導要領と個別の指導計画の目標に基づいた目標設定と単元の学習評価ができ、児童生徒の成長が見られた。
		保護者と教職員が、児童生徒の将来の生活を共に思い描き、情報共有している	A：9 B：12 C：1 D：0	B 3.3	・個別面談で、教育支援計画を基に将来の生活や必要な支援について情報を共有することができた。

イ	的確な実態把握に基づき「何ができるようになるか」を目指した授業実践	将来像を描き、児童生徒が「どのように学ぶか」を想定した授業づくりを行っている	A : 13 B : 9 C : 0 D : 0	A 3.5	・ S スケールを活用した実態把握を行い、チーム研修での意見や助言者の指導助言を活かし、実践・改善をすることで、職員が「どのように学ぶか」を想定した授業作りを行うことができた。
		児童生徒の実態に合った ICT 機器を授業で活用し、将来の生活につながる主体的な学びを促している	A : 16 B : 6 C : 0 D : 0	A 3.7	・ ミニ学習会を行い職員の知識を深め、タブレット端末や電子黒板など、ICT 機器を活用した授業を行った。授業に取り入れたことで、児童生徒が主体的に取り組む姿が見られた。
ウ	教職員が主体的に語り合って取り組む授業改善や業務改善の充実	学年・グループや学部を超えたチームで授業づくりについて語り合っている	A : 16 B : 6 C : 0 D : 0	A 3.7	・ チーム研修で職員が活発に話し合いをして授業作りをすることができた。職員への事前課題についての呼び掛けを工夫することで、より活発な研修にしていきたい。
		全教職員が時間外勤務月 45 時間以内、年 360 時間以内で勤務している	A : 10 B : 10 C : 2 D : 0	B 3.3	・ 業務が重なる時期に、時間外勤務が増え、マイ定時退勤日に、学部での呼び掛けが必要なこともあったが、概ね達成することができた。引き続き業務の平準化に取り組んでいきたい
エ	清潔で衛生的な安心して学べる学習環境づくりの充実	状況に応じた感染症対策や環境整備を行い、校内を清潔に保っている	A : 17 B : 5 C : 0 D : 0	A 3.7	・ 状況に応じた感染症対策や、校内清掃を行い、校内環境を整えることができた。
		施設不良個所の迅速な修繕と、物品の在庫状況の確認を行っている	A : 18 B : 4 C : 0 D : 0	A 3.8	・ 施設や教材の修繕や物品購入など迅速に対応し、学習環境を整えることができた。
オ	学校安全、防災、防犯体制の日常的見直し、教職員の主体性、共通理解強化	危機管理マニュアルを理解し、緊急時にとるべき行動が分かっている	A : 6 B : 15 C : 1 D : 0	B 3.2	
		一人一人が小さな違和感を言葉にし、ヒヤリハットにつながる事例を共有している	A : 10 B : 12 C : 0 D : 0	B 3.4	・ ヒヤリハットの書式や提出方法を見直し、ヒヤリハットの共有がより速やかにできるようになった。

カ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にする学校生活の充実	児童生徒が、自分や相手の良さに気づき、安心して学校生活を送っている	A : 13 B : 9 C : 0 D : 0	A 3.5	・お互いを認め合う場面を意識して設定することにより、学習の中で友達の様子に注目したり、応援したりする姿が見られた。
		相手の思いを想像して、物事を捉えたり、行動したりしている	A : 11 B : 11 C : 0 D : 0	A 3.5	・人権目標を定め、子どもが主役で、子どもの気持ちに寄り添う指導ができたことにより、児童生徒が自分の気持ちを表したり、友だちに関わろうとしたりする姿が見られた。
キ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	学校のことを知ってもらうため、地域に向けて学校の取り組みを発信している	A : 20 B : 2 C : 0 D : 0	A 3.9	・地域交流を積極的に行うことで、児童生徒は、普段体験できない貴重な経験をすることができた。来校者も活動を通して、障害をもつ児童生徒へ理解を深めることができた。
		外部講師や地域資源を活用した学習を計画し、実施している	A : 20 B : 2 C : 0 D : 0	A 3.9	・回数を重ねる中で、児童生徒が交流活動に慣れ、活動を楽しむ様子が見られた。学校間交流等も含めて、できるだけ年度初めに計画を立て、各授業をバランスよく行いたい。
ク	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	児童生徒が、交流及び共同学習に楽しみをもって参加している	A : 16 B : 6 C : 0 D : 0	A 3.7	・交流の目的や活動内容を適切に設定したことで、児童生徒が学校間交流に期待感をもって臨み、友達と触れ合いながら親交を深める姿が多くみられた。
		ねらいを明確にした交流教育を行い、共生共育の理解啓発に努めている	A : 14 B : 8 C : 0 D : 0	A 3.6	・交流の場で名前や好きなこと、得意な動きや支援の仕方を、写真や動画などで紹介し、交流相手が接し方について知ることができた。
ケ	静岡視覚特別支援学校との連携・協力による効果的な教育活動の推進	日常的に関わり、互いを認め合いながら共に学んでいる	A : 14 B : 7 C : 1 D : 0	A 3.5	・昼休み交流など日常的な交流を積み重ねることで、互いを認め合う姿が多くみられるようになった。

(2) 令和7年度の取組目標への評価及び成果と課題

【守り認め合う（安全・安心）】

命・心身を大切にし、互いを思いやり児童生徒、教職員が穏やかで和やかに過ごせる学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	安全で安心な学習環境、生活環境づくりの充実	・危機管理マニュアルを一人一冊配布し、日常的に確認できるようにする ・緊急時を想定した事前訓練や研修の実施	危機管理マニュアルを理解し、緊急時に取りべき行動がわかっている	保健安全
		・日常的な校内巡視による施設管理 ・教員と連携し、迅速で計画的な物品整備	不良個所の迅速な改善と、物品の在庫状況の確認を行っている	事務部
イ	児童生徒、教職員が自己や仲間を理解し、互いに認め合い、大切にす る学校生活の充実	・成果を発表する時間を設定し、お互いの良さを認め合えるようにする ・人権チェックリストの活用、人権研修等の実施	児童生徒が自分のことに自信をもって取り組み、友だちに関わろうとすることができる	教務・生徒指導

【学び高め合う（専門性）】

児童生徒の将来像を見据え、ステップアップ、学びの連続性を支える学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ウ	生活年齢、的確な実態把握に基づいた授業実践をし、学びの積み重ねがわかる教育活動の実践	・小・中学部9年間で学習する各教科の内容を、年間指導計画に設定し、偏りなく幅広い学習を行うようにする	児童生徒、一人ひとりの学びの積み重ねを教職員間で共有できる	教務・生徒指導
		・児童生徒に対し、あらわれの見取りを複数で確認し、実態把握をする ・実態にあったスモールステップでの目標を設定する	児童生徒が、「わかった、できた、またやりたい」という気持ちで活動し、自分の意志や気持ちを表現している	学部
		・個別の教育支援計画をもとに自立活動の目的について複数で検討 ・専門家の研修実施 ・アプリの情報共有	実態把握をし、児童生徒一人一人に合ったコミュニケーション手段を取り入れている	自立活動・情報
エ	教職員が主体的に語り合い、やりがいを感じて取り組む、授業改善や業務改善の充実	・児童生徒の思考の流れを想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす	「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えがある授業を行っている	研修
		・授業改善に向けた「改善タイム」を設置する ・Google アプリの運用を行う	教職員が授業準備や反省の時間を十分に取 り、授業改善が重ねられる	教務・生徒指導

【つながり合う(連携)】

児童生徒の学びを支えてくれる人と共に歩み、共生社会づくりに貢献する学校

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
オ	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	・児童生徒の実態等に沿った活動の設定 ・ねらいを明確にした実施計画の立案	児童生徒、教職員、保護者、地域の方が、交流をしてよかったと思っている	進路 地域支援
カ	共に学び、共に育つ交流及び共同学習の推進	・学校間交流、通学生と訪問生の交流を実施する ・分かりやすく、児童生徒の良さや頑張りが伝わる交流学习を計画 ・相手先との十分な連絡、情報共有	児童生徒が、同世代とのかかわりを楽しみ、自分からかかわっている	学部

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成果及び課題
令和 6 年度	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	・学校だより、学校掲示板の活用による広報活動 ・地域施設での作品展示 ・地域へ出掛け、体験的学習の充実（地域資源の活用） ・日常的に隣接施設との情報交換 ・スクーリングやリモート学習の充実（訪問教育） ・リハビリ見学実施 ・保護者と協力して学校行事を開催
令和 7 年度	地域、関係機関、保護者と連携した体験的学習や表現活動の充実	・学校だより、学校掲示板の活用による広報活動 ・地域施設での作品展示 ・地域へ出掛け、体験的学習の充実（地域資源の活用） ・日常的に隣接施設との情報交換 ・スクーリングやリモート学習の充実（訪問教育） ・リハビリ見学実施 ・近隣施設・地域の方々を学校行事に招待

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

区分	本務職員									臨時・会計年度任用職員					合 計
	校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	養 護 教 諭	主 査	主 任	主 事	小 計	教諭 (任)	主事 (臨)	医療 的 ケ ア 看 護 職 員	非常 勤 労 務 職 員	小 計	
転出者		1		6	1		1		9	1				1	10
退職者											1		1	2	2
転入者				4	1				5						5
新任者		1		1				1	3				1	1	4
差引 増減	0	0	0	△1	0	0	△1	1	△1	△1	△1	0	0	△2	△3

(2) 現員数

(令和7年6月30日現在) (単位：人)

本務職員								会計年度 任用職員			合 計
校 長	教 頭	事 務 長	教 諭	養 護 教 諭	主 査	主 事	小 計	医療的ケア看護職員	非常勤労務職員	小 計	
1	1	1	20	1	1	1	26	1	3	4	30

(3) 健康管理について

取組事項	具体的内容
○健康診断・健康相談の実施	・職員健診受診による再検査・精密検査の受診を促す ・必要に応じ、健康管理医による面接を実施する
○職場の健康づくり	・普段から風通しの良い人間関係を構築し、同僚の異変に早めに気づき、声を掛け合う職員集団をつくる ・不調時に休養室を利用しやすいよう、常に整理整頓する ・毎朝、腰痛予防体操を実施する ・校内の相談体制を充実させる ・「職場の健康づくり支援事業」を活用する
○職員安全衛生委員会	・年間計画に基づき、現状に応じたテーマで取り組む ・年6回、健康管理医が出席し、指導助言を受ける ・職場巡視チェックリストに基づき、管理医による職場巡視を行う ・職員の安全と健康に関する情報を共有する
○交通安全対策	・隔週月曜日の一人一言メッセージの中で交通安全について話題にし、交通安全意識を強化する ・事例を通して、未然に防ぐ対策を共有する ・繰り返し交通安全について話題にする ・夏の交通安全川柳大会を実施し、交通安全意識を高める
○長時間労働への指導	・月1回、完全定時退庁日を設定する ・優先順位をつけ、計画的に仕事をする習慣をつける ・19時以降の業務は申請制とし、19時30分には完全施錠する ・18時30分に職員室内でアラームが鳴るよう設定し、退庁時間を意識させる ・時間外勤務月45時間以内、年間360時間以内を周知する

(4) 教職員の研修について

令和6年度	
内容・方法	成果（◇）・課題（◆）
<研修テーマ> 児童生徒一人一人の自ら学ぶ姿を導き出すために～将来像を描き、アセスメントツールを活用しながら、「どのように学ぶか」を大切に算数・数学科授業づくり～ <目的> ・アセスメントツール（S スケール）を活用した実態把握に基づいた適切な算数・数学科の目標設定と授業実践を行う。 ・児童生徒の思考を想定する力の向上を目指すと共に、単元カードを活用した授業実践・授業改善を行う。 <内容> ・児童生徒の将来像を見据え、S スケールを活用した児童生徒の的確な実態把握や目標設定を行い、共通理解する。 ・「どのように学ぶか」を想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす。 ・希望制の研修チームを中心に授業研究を進め、定期訪問、校内授業研究会を通じて得た指導助言や成果を授業実践に活かしていく。	◇ S スケールを活用した実態把握を行って3年が経ち、職員間での共通理解が深まった。 ◇ チーム研修での授業づくりや研修会での指導助言を活かし、授業を実践・改善することができた。 ◇ 単元カードの書式を令和5年度に改訂してから、職員の中で単元カードを書くことが出伊着してきている。 ◆ 子どもの思考の流れを考えることを通して「どのように学ぶか」を想定した授業設計について研修したが、やるべきことが多岐にわたっており、もう少し深める必要がある。 ◆ 研修当日に向け、職員に事前に依頼している課題について、呼びかけを工夫することが必要だった。

令和7年度	
<研修テーマ> 「〇〇したい！どうしたらできる？」の問いや考えを引き出す授業づくり <目的> ・本校の児童生徒にとっての「〇〇したい」をその単元・授業でどう考えるかを職員間で共有し、それを元に子どもの思考の流れを想定した授業づくりをしていく。 <内容> ・国語科を窓口、児童生徒の「〇〇したい！」という問いや考え、思考の流れを想定した授業設計をし、学習評価を授業改善に活かす。 ・共通のアセスメントツールを活用した児童生徒の的確な実態把握や目標設定を行い、共通理解する。 ・少人数の研修チームを中心に授業研究を進め、定期訪問、校内授業研究会を通じて得た指導助言や成果を授業実践に活かしていく。研修チームは全校を2つに分け、職員の希望を募って1年間同じ児童生徒の成長を追っていく。	

6 防災対策について

- ア 「お、は、し、も」の災害時の避難標語を、児童生徒に徹底する。
イ 学校防災計画に基づき、教職員の危機管理意識を向上する。
ウ 隣接する施設や保護者との連携を図り、実践的な防災訓練を行う。
エ 自分の身は自分で守ることを基本に、児童生徒への防災・減災の意識付けを行う。
オ 防災対策の見直しをし、学校の実情に即した持続可能な対策を強化する。

【令和6年度】

日時	訓練内容
第1回 5月1日（水）	視覚特支・センターとの合同地震避難訓練、引き渡し訓練
第2回 7月25日（木）	南部特支 防災研修（避難滑り台、防災倉庫物品確認など）
第3回 9月2日（月）	視覚特支・センターとの総合避難訓練
第4回 11月29日（金）	視覚合同予告なし避難訓練
第5回 1月28日（火）	視覚合同避難訓練

【令和7年度】

日時	訓練内容
第1回 5月1日（木）	南部特支・センターとの合同地震避難訓練、引き渡し訓練
第2回 8月4日（月）	南部特支 防災研修（避難滑り台、防災倉庫物品確認など）
第3回 9月1日（月）	視覚特支・センターとの総合避難訓練
第4回 11月（未定）	視覚合同予告なし避難訓練
第5回 1月（未定）	視覚合同予告なし避難訓練

7 学校開放について

施設開放委員会を設置し、施設開放に対応している。

【令和6年度】

開放実績なし

【令和7年度】

開放実績なし

（令和7年6月30日現在）

□□□□□

事務執行の根拠法令調

項目	根拠法令
学校教育に関するもの	教育基本法（第 1 条、第 2 条） 学校教育法（第 1 条、第 2 条、第 3 条、第72条、第73条、 第74条、第76条、第77条、第80条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第 5 条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領
学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第 3 条、第 4 条） 静岡県教育委員会処務規程 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第 2 条、第 3 条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護及び準要保護 児童生徒奨励費補助金交付要綱 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育 就学奨励費補助金交付要綱 いじめ防止対策推進法

□□□□□

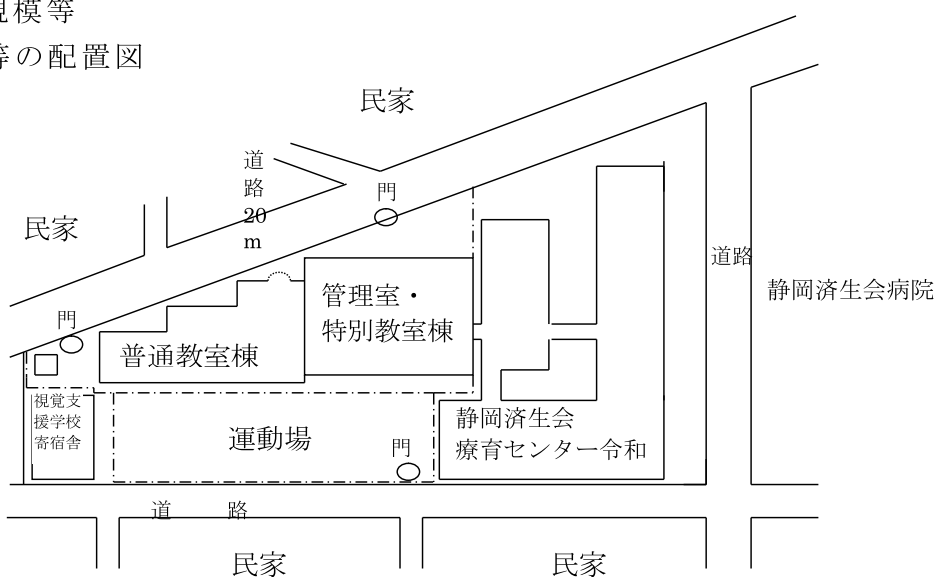
学校施設の概要

1 面積及び所有区分 (令和7年6月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民有 m ²	
学校敷地	4,036.49	4,036.49					
内 訳	校舎敷地	2,568.82	2,568.82				
	運動場敷地	1,467.67	1,467.67				
校 舎	建 1,707.36	1,707.36					含体育館 601.30m ²
	延 4,150.48	4,150.48					
その他の建物	建 21.00	21.00					
	延 21.00	21.00					
プ ール	80.5	80.5					7×11.5m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	4,036.49 m ²	4,150.48 m ²	1,467.67 m ²
県 平 均	19,266.88 m ²	6,361.36 m ²	5,302.07 m ²

□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年6月30日現在)

学年	課程		小学部									中学部								
			本校			訪問			合計			本校			訪問			合計		
	区分	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計	
1年	入学者		0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
	現在		0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
2年	入学者		0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0		1	1	0	1	1
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
	2年時当初		0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
	現在		0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1
	3年	入学者		0	0	0	0	0	0	0	0	0		1	1	2	2	4	2	3
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0	1	1	2	1	1	2
2年時当初		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3	
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
3年時当初		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3	
		増加			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
		減少			0			0	0	0	0			0			0	0	0	
現在		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	2	3	
4年		入学者		0	0	0		0	0	0	0	0								
			増加	1		1			0	1	0	1								
	減少		1		1			0	1	0	1									
	2年時当初		0	0	0	0	0	0	0	0	0									
		増加			0			0	0	0	0									
		減少			0			0	0	0	0									
	3年時当初		0	0	0	0	0	0	0	0	0									
		増加	1	1	2			0	1	1	2									
		減少	1	1	2			0	1	1	2									
	4年時当初		0	0	0	0	0	0	0	0	0									
		増加			0			0	0	0	0									
		減少			0			0	0	0	0									
	現在		0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	5年	入学者		1	0	1			0	1	0	1								
			増加			0			0	0	0	0								
			減少			0			0	0	0	0								
		2年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1								
			増加	2		2			0	2	0	2								
			減少	2		2			0	2	0	2								
		3年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1								
		増加			0		1	1	0	1	1									
		減少			0			0	0	0	0									
4年時当初		1	0	1	0	1	1	1	1	2										
		増加			0			0	0	0	0									
		減少			0			0	0	0	0									
5年時当初		1	0	1	0	1	1	1	1	2										
	増加			0			0	0	0	0										
	減少			0			0	0	0	0										
現在		1	0	1	0	1	1	1	1	2										
6年	入学者		1	0	1	1	0	1	2	0	2									
		増加		1	1	1		1	1	1	2									
		減少		1	1	1	1		1	1	1	2								
	2年時当初		1	0	1	1	0	1	2	0	2									
		増加		1	1			0	0	1	1									
		減少		1	1	1	1		1	1		1								
	3年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1									
		増加	1	1	2			0	1	1	2									
		減少	1	1	2			0	1	1	2									
	4年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1									
		増加			0			0	0	0	0									
		減少			0			0	0	0	0									
	5年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1									
			増加		1	1			0	0	1	1								
			減少		1	1			0	0	1	1								
		6年時当初		1	0	1	0	0	0	1	0	1								
		増加			0			0	0	0	0									
	減少			0			0	0	0	0										
現在		1	0	1	0	0	0	1	0	1										
合計		2	2	4	1	1	2	3	3	6	0	1	1	2	2	4	2	3	5	

□□□□□

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部		4			4
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職					
上 記 以 外 ※					
不 詳 ・ 死 亡					
計 (卒業者総数)		4			4

(再掲) 「上記以外※」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設					
(うち就労系支援事業利用者)		()	()	()	()
医療機関					
計					

□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

市町名	静岡市	富士市	焼津市	合 計
生徒数	9	1	1	11
構成比%	81.8	9.1	9.1	100%

(2) 通学方法 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区 分	徒歩	自家用車	合 計
生徒数	4	1	5
構成比%	80.0	20.0	100%

* 訪問教育は除く

(3) 訪問教育の状況 (令和7年6月30日現在) (単位: 人)

訪問教員等			市 町	静岡市	計
小・中 学 部	教 諭	5	小学部	2	2
	講 師		中学部	4	4
高等部	教 諭		高等部		
	講 師				
計		5	計	6	6

2 部(クラブ)の加入状況

< 中学部 >

(令和7年6月30日現在) (単位: 人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ) 数					
男子	1 年				
	2 年				
	3 年				
	計 (A)				
	構成比				
女子	1 年				
	2 年				
	3 年				
	計 (B)				
	構成比				
合計	(A + B)				
	構成比				

3 障害別児童生徒数 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数
小学部	単一障害	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	重複障害	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	肢体重複	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	合計	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
中学部	単一障害	☐	☐	☐				☐	☐
	重複障害	☐	☐	☐				☐	☐
	肢体重複	☐	☐	☐				☐	☐
	合計	☐	☐	☐				☐	☐
訪問	小学部	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
	中学部	☐	☐	☐				☐	☐
	合計	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

4 起因疾患別児童生徒数

(令和7年6月30日現在) (単位:人)

区 分	脳性疾患	筋原性疾患	脊柱脊髄疾患	その他	計
小学部	☐	☐	☐	☐	4
中学部	☐	☐	☐	☐	1
訪 問	☐	☐	☐	☐	6
計	☐	☐	☐	☐	11

□□□□□

預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
清水銀行 東静岡支店	無利息型 普通預金	2281960	静岡県立静岡南部特別支援学校 資金前渡者 川崎みどり	0	給与及び資金前渡金の受領
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	0481047	(自振口) 静岡県立静岡南部特別 支援学校資金前渡者 川崎みどり	0	公共料金等の自動振替
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金	0242428	静岡県立静岡南部特別支援学校 奨励費代理受領者 川崎みどり	0	就学奨励費の代理受領
残 高 合 計				0	

□□□□□

郵 券 等 受 払 調

(令和7年6月30日現在)

(単位：枚、円)

区分	種類	令和6年度						令和7年度								摘要
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	84円券	43	3,612	0	0	6	504	37	3,108	0	0	0	0	37	3,108	公文書 発送
計			3,612		0		504		3,108		0		0		3,108	
タクシー チケット	静岡市 タクシー 事業協同 組合	32		0		0		32		0		0		32		校外行事 の実施
計		32		0		0		32		0		0		32		
iTunes Card	1,500円分	0	260	0	0	0	0	0	260	0	0	0	0	0	260	アプリ ダウン ロード
	3,000円分	0	520	0	0	0	0	0	520	0	0	0	0	0	520	
	10,000円分	0	160	0	0	0	0	0	160	0	0	0	0	0	160	
計		0	940	0	0	0	0	0	940	0	0	0	0	0	940	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和6年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		775,951	
計					1,412,503	775,951	0
(14) 工事 請負費						0	
計					0	0	0
(16) 公有財産 購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		597,300	
計					3,066,030	597,300	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援学 校管理費		35,000	
計					69,500	35,000	0
(21) 補償、補填 及 賠償金						0	
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					左のうち、5年度からの繰越額分	
(12) 委 託 料	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	40,920	0
計					40,920	0
(14) 工 事 請 負 費					0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購 入 費					0	0
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	117,600	0
計					117,600	0
(18) 負 担 金、 補 助 及 び交付金	01 一般会計	11 教育費	07 特別支援 学校費	02 特別支援 学校管理 費	10,500	0
計					10,500	0
(21) 補償、補填 及 び 賠 償 金					0	0
計					0	0

□□□□□

委託料に関する調

(令和6年度)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	自家用電気工作 物保安管理業務	菊池電気保 安管理事務 所	円 74,432	74,432		円 74,432	随契	R6.4.1 ＼ R7.3.31	R6.10.10 R7.4.15 小計	円 34,770 39,662 74,432	電気工作物点検 月1回点検	随契 1号 (少額)
2	消防用設備等 保守点検業務	鈴与技研 (株)	18,857	18,857		18,857	随契	R6.4.1 ＼ R7.3.31	R6.9.11 R7.4.15 小計	8,800 10,057 18,857	消防設備点検	随契 1号 (少額)
3	エレベーター 保守点検業務	ジャパン エレベータ サービス 神奈川(株)	369,600	232,320		232,320	随契	R6.4.1 ＼ R7.3.31	R6.5.30 R6.6.18 R6.7.16 R6.8.20 R6.9.30 R6.10.17 R6.11.21 R6.12.20 R7.1.20 R7.2.25 R7.3.28 R7.4.21 小計	19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 19,360 232,320	定期点検 月1回点検 定期検査 年1回点検	随契 1号 (少額)
4	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(株)総合美装 ワタナベ	67,100	67,100		67,100	随契	R6.7.1 ＼ R6.9.30	R6.9.10	67,100	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
5	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(株)マルサワ	99,866	99,866		99,866	随契	R6.11.20 ＼ R7.3.31	R6.12.26	99,866	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
6	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(株)総合美装 ワタナベ	67,100	67,100		67,100	随契	R6.11.25 ＼ R7.3.31	R7.1.20	50,600	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
7	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(有)エコダス	99,000	99,000		99,000	随契	R6.12.23 ＼ R7.1.31	R7.1.31	99,000	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
8	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(株)マルサワ	66,676	66,676		66,676	随契	R7.2.3 ＼ R7.3.31	R7.3.5	66,676	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
9	産業廃棄物収集 運搬・処分業務	(株)総合美装 ワタナベ	67,100	67,100		67,100	随契	R7.1.27 ＼ R7.3.28	R7.4.7	67,100	産業廃棄物収集・ 運搬及び処分	随契 1号 (少額)
	事務関係計	9件								775,951		

参考

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	中央特別支援学 校外4校消防用 設備等保守点検 業務	旭産業(株)		4,070,000		4,070,000		R6.4.1 ＼ R7.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別 支援学校
2	静岡農業高校外 13校可燃物収集 運搬処分業務	(株)静岡清掃 企業		運搬 @15,950円/ 回 処分 @11.0円/kg		運搬 @15,950円/ 回 処分 @11.0円/kg		R6.4.5 ＼ R7.3.31			毎週月・水・金 年間 134回	静岡農業 高校
3	静岡市葵区・駿河 区県立学校建築基 準法第12条に基づ く定期点検業務	合同会社石 橋剛設計事 務所		3,850,000		3,850,000		6.8.13 ＼ 7.1.31			建築基準法第12条に基 づく定期点検	駿河総合 高校
4	駿河総合高校外 13校警備業務	エスピトー ム(株)		11,088,000	42,900	11,088,000		R1.10.1 ＼ R6.9.30			警報機器による機械警 備	駿河総合 高校
5	駿河総合高校外 13校警備業務	エスピトー ム(株)		12,999,360		12,999,360		R6.10.1 ＼ R11.9.30			警報機器による機械警 備	駿河総合 高校
	計	5件										

□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	自家用電気工作物保安管理業務	菊池電気保安管理事務所	円 74,432	74,432		円 74,432	随契	R7.4.1 ～ R8.3.31		円 0	電気工作物点検 月1回点検	随契 1号 (少額)
									小計	0		
2	消防用設備等保守点検業務	鈴与技研(株)	18,857	18,857		18,857	随契	R7.4.1 ～ R8.3.31			消防設備等保守点検 年2回点検	随契 1号 (少額)
									小計	0		
3	エレベーター保守点検業務	ジャパンエレベーターサービス 神奈川(株)	290,400	245,520		245,520	随契	R7.4.1 ～ R8.3.31	R7.5.20 R7.6.20	20,460 20,460	定期点検 月1回点検 定期検査 年1回点検	随契 1号 (少額)
									小計	40,920		
	事務関係計	3件								40,920		

参考

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更 増減額	計						
1	中央特別支援学校外4校消防用設備等保守点検業務	旭産業(株)		4,125,000		4,125,000		R7.4.1 ～ R8.3.31			機器点検 年1回 機器点検・総合点検 年1回 防火設備点検 年1回	中央特別 支援学校
2	静岡農業高校外12校可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業		運搬 @18,000円/回 処分 @15.0円/kg		運搬 @18,000円/回 処分 @15.0円/kg		R7.4.7 ～ R8.3.31			毎週月・水・金 年間 135回	静岡農業 高校
3	駿河総合高校外13校警備業務	エスピトーム(株)		12,999,360		12,999,360		R6.10.1 ～ R11.9.30			警報機器による機械 警備	駿河総合 高校
	計	3件										

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	中部地区特別支援学校 肢体不自由教育校長会 会費	中部地区特別支援学 校肢体不自由教育校 長会	会則によ る	肢体不自由教育 の研究	4,000	R6. 6. 20
2	全国特別支援学校養護 教諭研修会参加費	全国特別支援学校養 護教諭キャリアアッ プ研究会	開催要項 による	特別支援学校に 勤務する養護教 諭の専門性向上 のための研究	4,000	R6. 6. 25
3	全国特別支援学校肢体 不自由教育教頭研究協 議会参加費	全国特別支援学校肢 体不自由教育教頭研 究協議会	開催要項 による	肢体不自由教育 の研究	3,000	R6. 7. 31
4	全国肢体不自由研究協 議会参加費	全国特別支援学校肢 体不自由教育校長会	開催要項 による	肢体不自由教育 の研究	9,000	R6. 9. 6
5	全国特別支援学校肢体 不自由教育校長会会費	全国特別支援学校肢 体不自由教育校長会	会則によ る	肢体不自由教育 の研究	15,000	R6. 12. 20
		5 件			35,000	

□□□□□

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
					円	
1	中部地区特別支援学校 肢体不自由教育研究大 会参加費	中部地区特別支援学 校肢体不自由教育研 究大会参加費	開催要項 による	肢体不自由教育 の研究	6,000	R7. 6. 25
2	全国特別支援学校肢体 不自由教育教頭会会費	全国特別支援学校肢 体不自由教育教頭会	会則によ る	肢体不自由教育 の研究	4,500	R7. 6. 27
		2件			10,500	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和 6 年度)

区 分	令和 6 年 3 月 31 日現在		増		減		令和 7 年 3 月 31 日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 806,976		千円 6,576		千円 23,251		千円 790,301	
土 地	m ² 4,036.49	599,707	m ²		m ²		m ² 4,036.49	599,707	
立木竹	本 19	1,070	本		本		本 19	1,070	
建 物	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	178,764	m ²		m ²	21,144	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	157,620	
工作物	個 54	27,435	個 6	6,576	個	2,107	個 60	31,904	
公有財産に準ずるもの		157						157	
電話加入権	件 3	157	件		件		件 3	157	

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和 7 年度)

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区 分	令和 7 年 3 月 31 日現在		増		減		令和 7 年 6 月 30 日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 790,301		千円		千円		千円 790,301	
土 地	m ² 4,036.49	599,707	m ²		m ²		m ² 4,036.49	599,707	
立木竹	本 19	1,070	本		本		本 19	1,070	
建 物	m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	157,620	m ²		m ²		m ² <u>1,728.36</u> 4,171.48	157,620	
工作物	個 60	31,904	個		個		個 60	31,904	
公有財産に準ずるもの		157						157	
電話加入権	件 3	157	件		件		件 3	157	

□□□□□

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)
(令和 7 年 6 月 30 日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)		
				令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
長期継続 契 約	空調設備 賃貸借	空調設備リース 静岡視覚特別支援 学校エリア 校舎 4 台 寄宿舍 15 台 契約日 令和 5 年 6 月 8 日	7, 249, 000	円	円	円
				1, 812, 256	2, 718, 372	2, 718, 372

□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和 7 年 6 月 30 日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許可 目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市駿河区 曲金5-3-30	宅地	学校敷地	条 支線 1	円 1,500	円 1,500	R3.4.1 ～ R8.3.31	中部電力パワ ーグリッド(株)静岡 営業所長	電柱 支線
2	土地	学校敷地	静岡市駿河区 曲金5-3-30	宅地	学校敷地	m ² 0.1		免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	曲金4丁目地 区テレビ共聴 組合長	共聴用 設備 (電柱)
3	建物	事務所建	静岡市駿河区 曲金5-3-30	RC造 3階建	RC造 3階建	m ² 0.01		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	静岡市長	防災設 備(戸 別受信 機)
								1,500			

□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	01-04	移動書庫	移動書庫 プラスKS-U372	毎日（年間365日） 事務用に使用	H6. 3	877, 580
2	10-06	教育調理器具	昇降式調理台 L S - D 2 1 M	週2日（年間80日） 家庭科授業用に使用	H27. 12	874, 800
3	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ A 1 R	毎日（年間200日） 授業に使用	H7. 3	840, 000
4	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 6馬力シングル	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H22. 3	787, 500
5	02-02	放送装置	放送装置 ナショナル WL-SA111	毎日（年間200日） 校内連絡、放送用に使用	H15. 2	753, 900
6	01-02	台	調理台 上下可動式、天板ステンレス製	週2日（年間80日） 家庭科授業用に使用	S63. 3	677, 000
7	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー 天吊型PCZ-RP140KC	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H24. 3	607, 950
8	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PCZ-ZRMP45KLL	夏季、冬季(年間90日) 来客・会議に使用	H28. 7	475, 200
9	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー PKZ-ERP80K	夏季、冬季(年間90日) 生徒の体温調整に使用	H27. 7	464, 400
10	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KK	夏季（年間50日） 生徒の体温調整に使用	H19. 7	456, 750
11	01-01	テーブル	会議用、来客用テーブル プラスWF-360	毎日（年間200日） 来客、会議に使用	H7. 2	453, 200
12	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80FD	夏季（年間50日） 生徒の体温調整に使用	H18. 6	449, 925
13	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KK	夏季（年間50日） 生徒の体温調整に使用	H20. 6	441, 000
14	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KM	夏季（年間50日） 生徒の体温調整に使用	H21. 3	429, 450
15	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P40SGC	夏季（年間50日） 生徒の体温調節に使用	H17. 9	420, 000
16	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KLL	夏季（年間50日） 生徒の体温調節に使用	H20. 3	420, 000
17	01-04	移動書庫	移動書庫 プラス リンクス	毎日（年間365日） 事務用に使用	H8. 3	405, 100
18	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー MPK-P80KLL	夏季（年間50日） 生徒の体温調節に使用	H23. 3	388, 500
19	04-99	その他の医療衛生機器	キハラ除菌BOX 4 D	週2日（年間80日） 教材の除菌に使用	R4. 11	348, 100
20	04-99	その他の医療衛生機器	キハラ除菌BOX 4 D	週2日（年間80日） 教材の除菌に使用	R4. 11	348, 100

□□□□□

職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	職名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	校 長	川崎 みどり		□□□	年 月 □.□	□□□
2	教 頭	稲 木 龍 元		□□□	□.□	□□□
3	事務長	中 川 美 幸		□□□	□.□	□□□
4	教 諭	馬 場 すみ代	訪問教育	□□□	□.□	□□□
5	教 諭	杉 山 浩	級外	□□□	□.□	□□□
6	教 諭	川 邊 直 美	訪問教育	□□□	□.□	□□□
7	教 諭	佐藤 美保子	級外	□□□	□.□	□□□
8	教 諭	小 島 美 穂	訪問教育	□□□	□.□	□□□
9	教 諭	大 林 裕 子	級外	□□□	□.□	□□□
10	教 諭	安 部 さおり	小学部主事	□□□	□.□	□□□
11	教 諭	松 木 美 穂	中学部主事	□□□	□.□	□□□
12	教 諭	田 嶋 友 紀	小学部	□□□	□.□	□□□
13	教 諭	前 田 ゆ み	級外	□□□	□.□	□□□
14	教 諭	海 野 恭 平	級外	□□□	□.□	□□□
15	教 諭	佐藤 つかさ	級外	□□□	□.□	□□□
16	教 諭	長 澤 望	訪問教育	□□□	□.□	□□□
17	教 諭	小 澤 彰 子	中学部	□□□	□.□	□□□
18	教 諭	紅 林 剛 士	小学部	□□□	□.□	□□□
19	教 諭	松 浦 彩 乃		□□□	□.□	□□□
20	教 諭	村 上 久留実	小学部	□□□	□.□	□□□
21	教 諭	森 拓 未	小学部	□□□	□.□	□□□
22	教 諭	青 嶋 航	級外	□□□	□.□	□□□
23	教 諭	木 暮 華 子	中学部	□□□	□.□	□□□
24	養護教諭	天 野 圭 子		□□□	□.□	□□□
25	主 査	原 夏 子	管財、会計	□□□	□.□	□□□
26	主 事	町 田 ほの花	給与・庶務	□□□	□.□	□□□
平均年数					□.□	

整理 番号	職名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
1	会計年度 任用職員	中 島 律 子	医療的ケア	□□□	□.□	□□□
2	会計年度 任用職員	杉 本 有 加	介助	□□□	□.□	
3	会計年度 任用職員	小 林 和 人	校内整備	□□□	□.□	
4	会計年度 任用職員	山 梨 真 司	校内整備	□□□	□.□	
5	学校医	早 川 幸 代	内科	□□□	□.□	
6	学校医	大 岩 和 博	眼科	□□□	□.□	
7	学校医	武 林 悟	耳鼻科	□□□	□.□	
8	学校医	廣 岡 敦 子	整形外科	□□□	□.□	
9	学校医	藤 塚 秀 樹	歯科	□□□	□.□	
10	学校薬剤師	杉 浦 嘉 彦		□□□	□.□	
11	健康管理医	山 倉 慎 二		□□□	□.□	

□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年6月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	3	
40歳以上50歳未満	8	
50歳以上56歳未満	6	
56歳以上61歳未満	3	
61歳以上	3	
計	26	平均年齢 46.7歳

健康管理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 27人
	職 員 数 27人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	11(11)人
D 2		要経過観察	7(7)人
D 3		医 療 不 要	6(6)人
区 分 者 計			24(24)人
未区分者数			2人
合 計			26(26)人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 2人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人
 ()